

進路通信

伊丹市立松崎中学校 第三学年

第15号

令和6年2月27日（火）

合格の価値高めよう

私学入試は、全員が合格することができました。おめでとう！推薦特色多部の入試においても、多くの方が合格することができました。ここまでの入試の結果は、とてもいいように思っています。また、先週の木曜日に公立学力検査の出願も終わり、担任の先生から受検票が渡されていると思います。受検票は、なくさないようにどこへ置いているか家族に周知しておき、もし忘れてしまったときに、対応できるようにしましょう。また、合格発表の時にも必要となるので、家庭でどこへ置いているか共通理解をしておきましょう。

さて、公立学力検査は3月12日（火）に行われます。公立学力検査を受検する人は、そこへ向かって追い込みをする時期になります。自分で追い込んでいくのが、一番いいと思いますが、時に友達のを借りて教えてもらうのも大切です。私学専願や公立推薦特色多部で合格した人に協力してもらうのをおすすめします。以前から伝えていますが、合格して終わりではなく、その合格を周りの人から喜んでもらったり、祝福したりしてもらえる合格にしてほしいと思います。合格の価値は、合格してから変わっていきます。まだ受検を控えている人がいるので、その人たちをサポートできるような行動ができてこそ、合格の価値が上がります。最後まで、協力していきましょう。

心配

進路がまだ決まっていない人の様子で気になることを書いておきます。一つ目は、朝の登校時間が遅いこと。8時25分に着席の状態になっておかないといけないうのに、8時25分ぎりぎりに登校している人がいます。入試本番、遅刻しないか心配です。また、人間の脳が目覚めるまでに起きてから約3時間かかると言われています。朝、起きるのが遅い人は、ぼーっとしたまま入試の1時間目(国語)を受けることとなります。本番を想定した生活習慣を心がけてください。二つ目は、休み時間の過ごし方です。時間を惜しんで勉強をしている人の姿を見かけるようになりました。しかし、反対に騒いで、勉強している人の妨害をしている人がいます。今は、ナーバスになる時期です。自分の行動が、進路に向けて一生懸命取り組んでいる人の邪魔になっていないかよく考えてください。人の進路を潰すな。と以前、話したのを覚えていますよね。余裕のある人はいないので、今、すべきことは何かよく考えましょう。

三つ目は、倍率に振り回されないことです。今日、倍率が出ますが、何倍だろうが当日の結果で上回って合格すればいいだけの話です。倍率の捉え方ですが、先生は、**倒すべき相手の数がわかった** といつも思っています。50人であろうが、100人であろうが、勝てばいいだけの話です。そこに気を取られるよりも勉強に集中すべきです。以上の三つのことについて、よく自分を見つめ直しましょう。

※明日から志願変更の受付(2月28日から3月1日)が行われます。もし、希望される場合は、担任の先生へ早めの連絡をお願いします。